

---

令和8年度  
農作業安全に関する指導者育成研修  
解説資料

---

# 1 農作業安全推進の背景・目的 と概要

テキストページ

P.2~P.10

- ※ 事故データ等の内容はリニューアルされています
  - ※ 被災者の治療後の患部の写真が含まれていますので、苦手な方はご注意ください。
-

# 1 農作業事故が引き起こすもの

皆さんが日頃、農業者と関わる際に、こう感じたことはありませんか？

- 「安全」にはまったく関心を持ってもらえない
- 農作業事故の話をして、どこか他人事

多くの方が「農作業事故は自分とはあまり関係ない」  
他人事と言えるのでしょうか？



## 2 農作業事故の現状と課題

### 農作業事故の発生状況

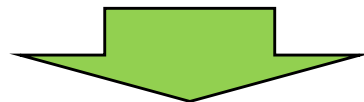
#### 死亡事故（農林水産省2026）

- 減少傾向にあった死亡事故数が一転、増加（236人 → 287人）
- 10万人あたり死亡事故数は、建設業の3倍、全産業の13.5倍とさらに開く

#### 負傷事故

- 全国統計はないが、JA共済連の推測によれば・・・

後遺障害事故は死亡事故の約2倍、傷害事故は約266倍の年間6.4万件、1日あたり約177件と推定

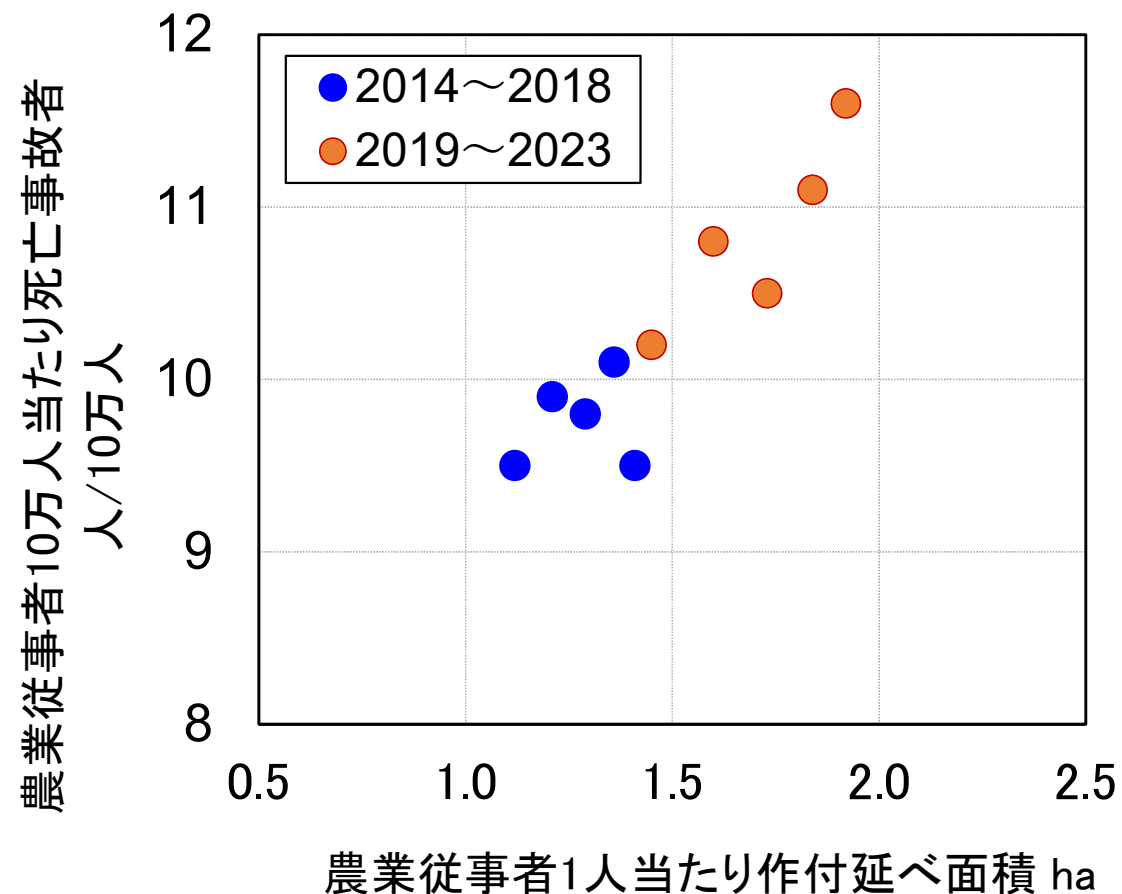


誰の身に起きてても不思議ではない状況  
農作業事故は決して他人事ではない！

## 2 農作業事故の現状と課題

### 作付け延べ面積の増加と農作業死亡事故

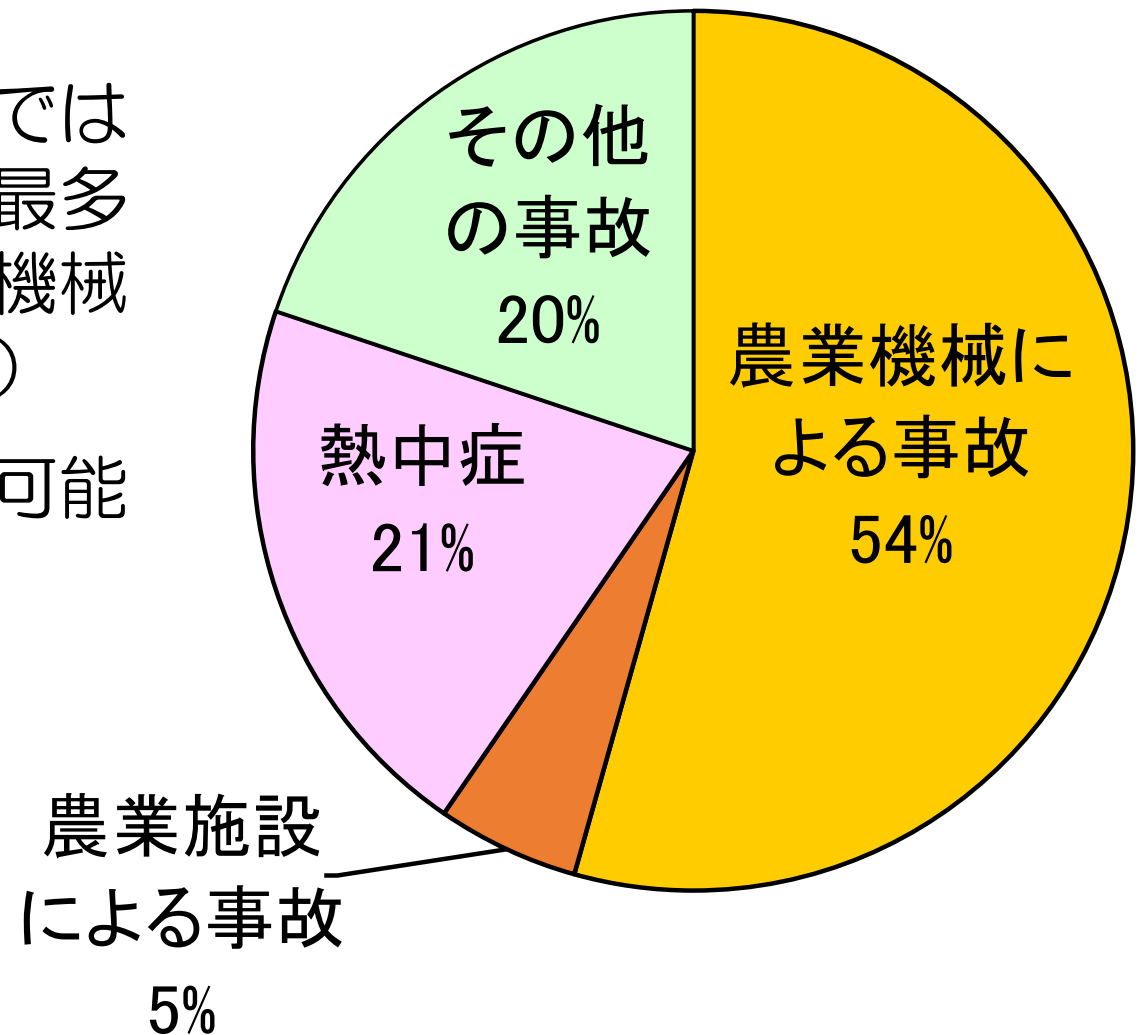
- 1人あたり作付け延べ面積の増加に伴い、死亡事故発生確率が上昇
- 作付け面積の拡大が、団地化・集積化よりも離農の吸収等による小区画・分散ほ場の増加にあると思われる、担い手への負担が増加
- 担い手の事故遭遇リスクは年々高まる傾向に



## 2 農作業事故の現状と課題

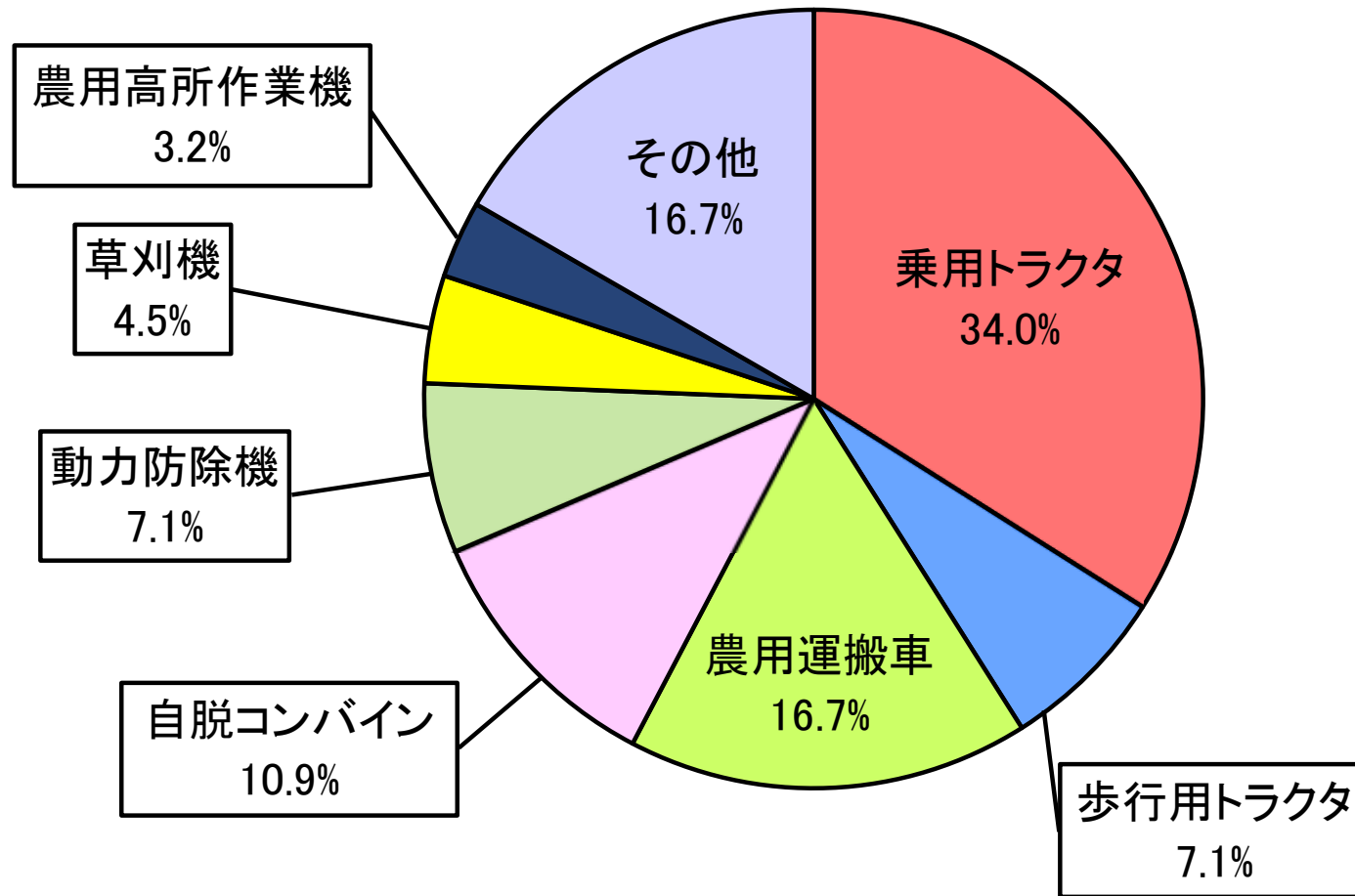
### 農作業死亡事故の内訳（農林水産省2026）

- 農業機械による事故が最多を占める
- 負傷事故の場合、北海道では牛との接触による事故が最多で年間約700件（農業機械による事故件数を上回る）
- 府県でも潜在的に多発の可能性



## 2 農作業事故の現状と課題

### 農業機械による死亡事故の内訳 (農林水産省2026)



乗用トラクタ

転落転倒が最多

1位



農用運搬機

転落転倒が最多

2位←3位



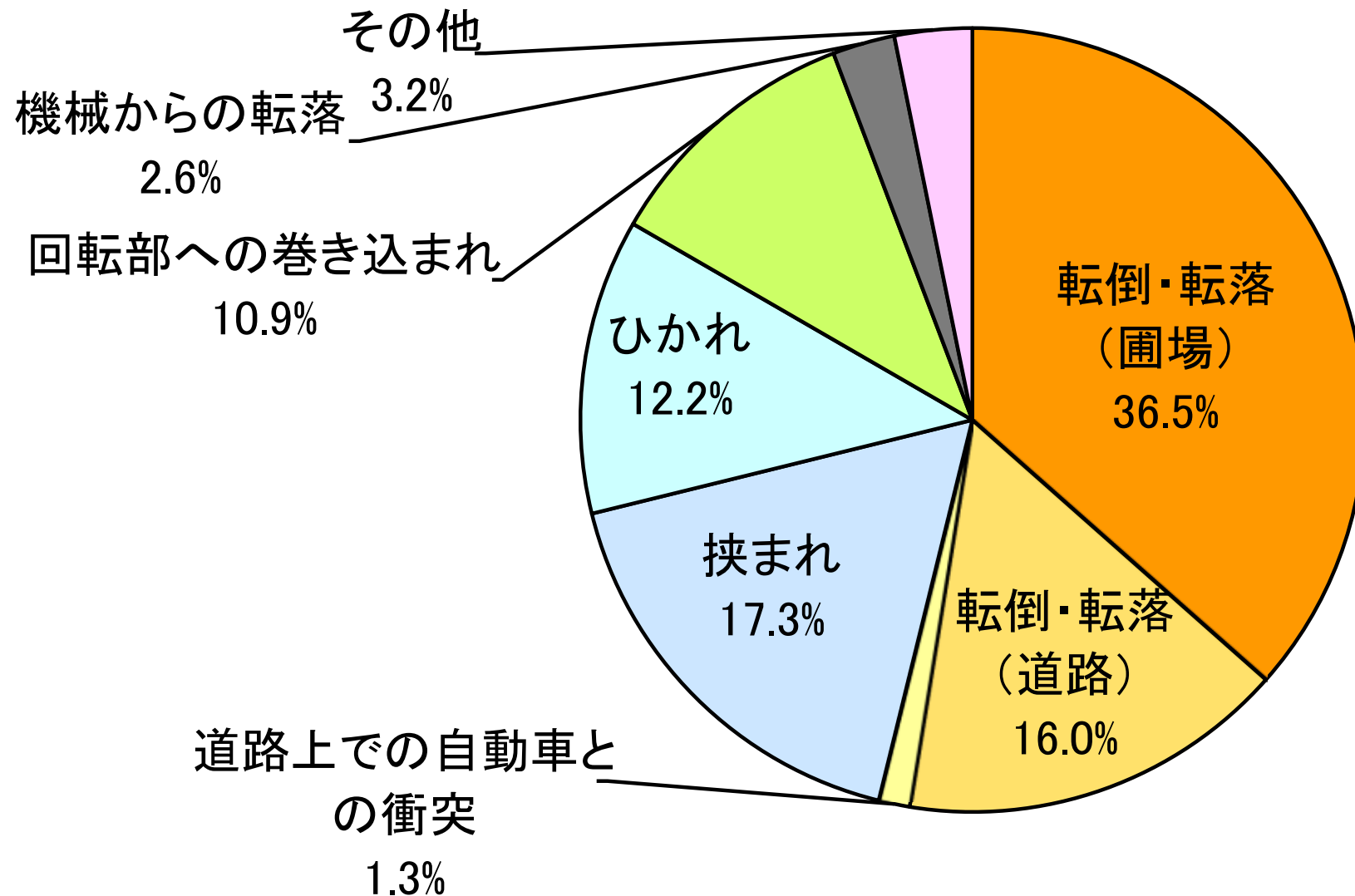
自脱コンバイン

転落転倒が最多

3位←2位

## 2 農作業事故の現状と課題

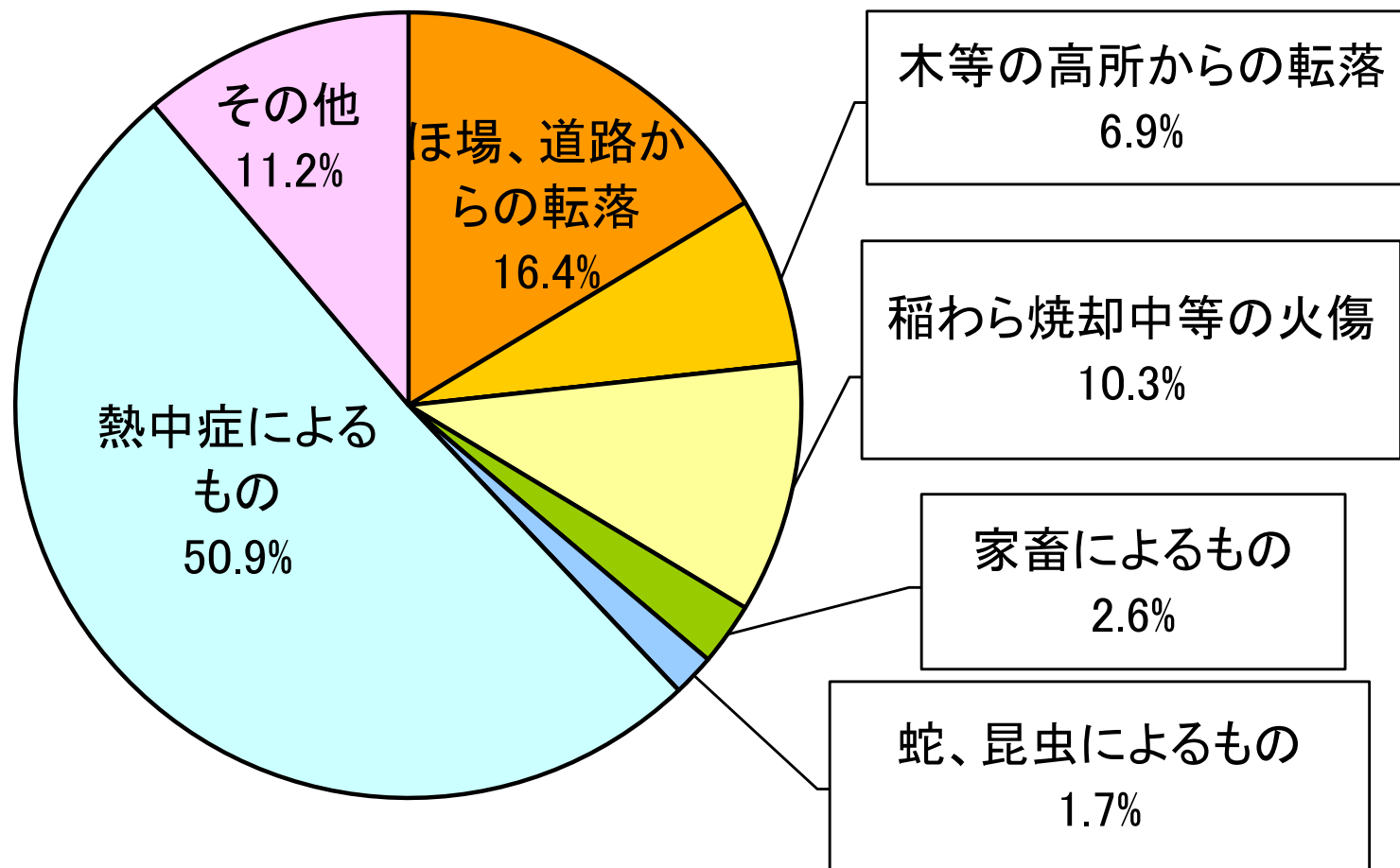
### 農業機械による事故の様態（農林水産省2026）



## 2 農作業事故の現状と課題

農業機械・施設以外による死亡事故の内訳（農林水産省2026）

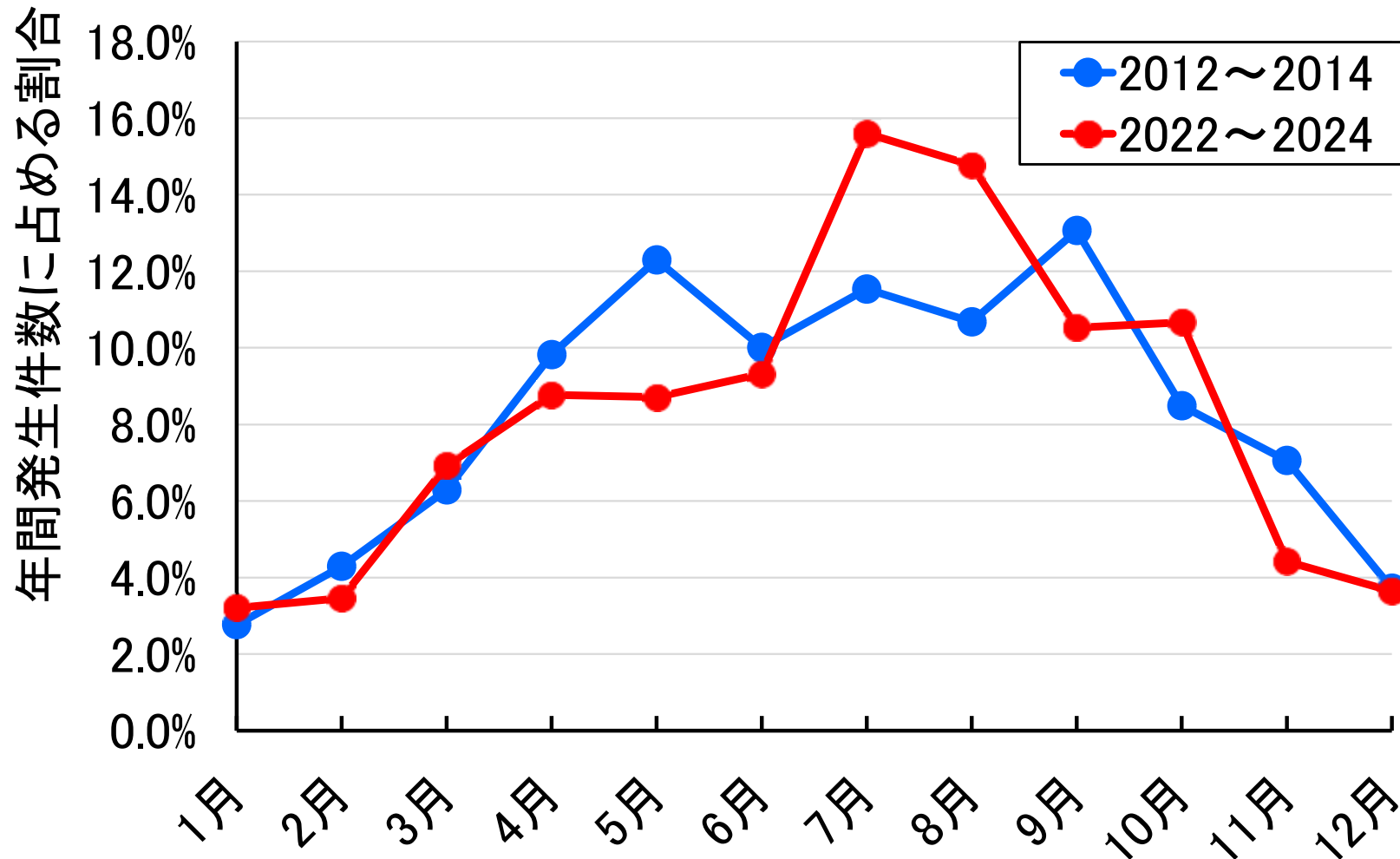
- 熱中症が急増、10年前の**3.1倍**（19件 → 59件）  
→ 農作業死亡事故数の増加の一因に
- 建設業（10件）の6倍、10万人あたりでは約15倍



## 2 農作業事故の現状と課題

### 農作業死亡事故増加の背景

- 年間事故件数に占める月別件数割合の3年間平均を10年前と比較すると、春秋ピークから夏ピークへと変化

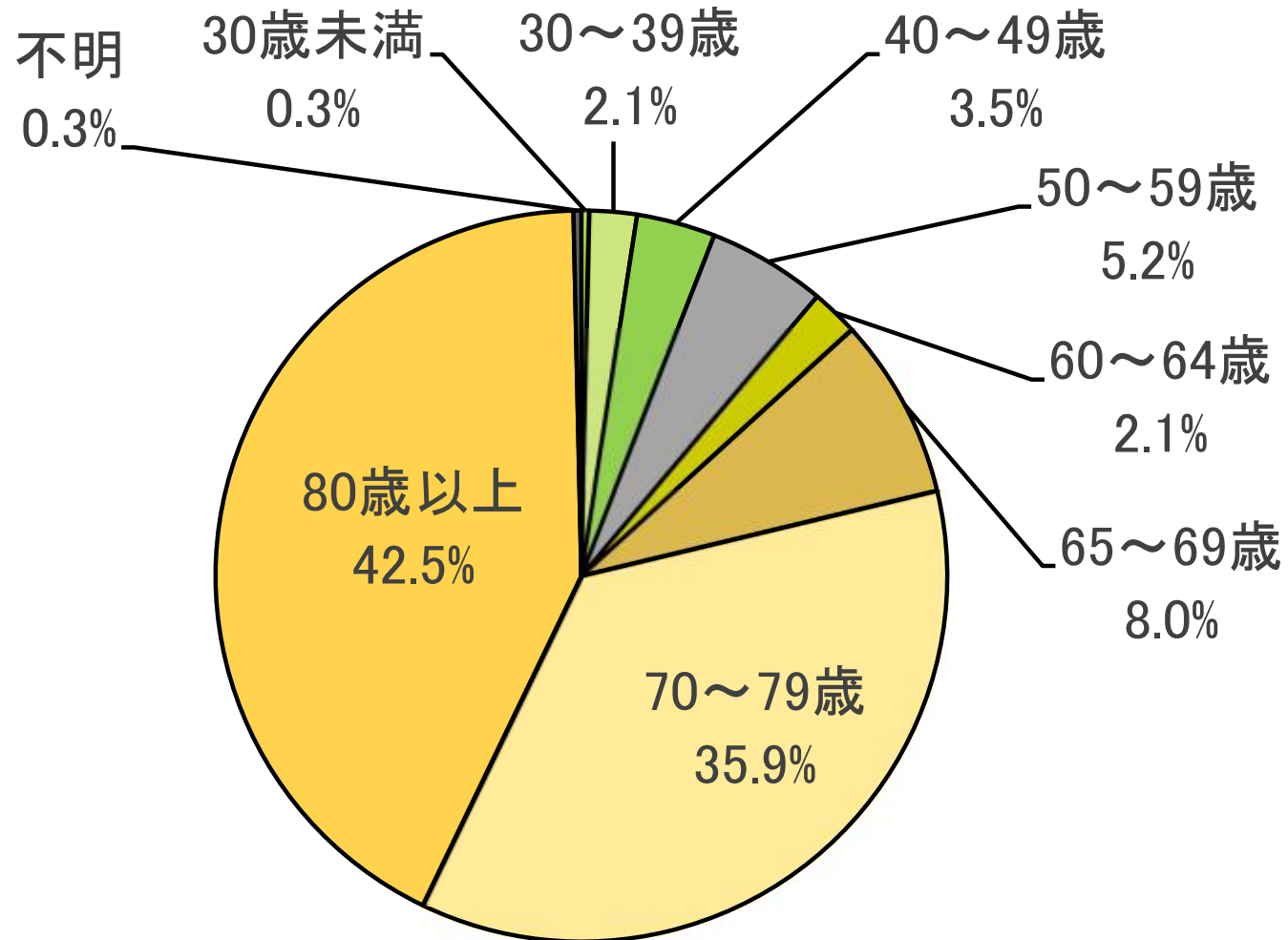


## 2 農作業事故の現状と課題

### 農作業死亡事故の統計（2026）

- 年齢層別の推移

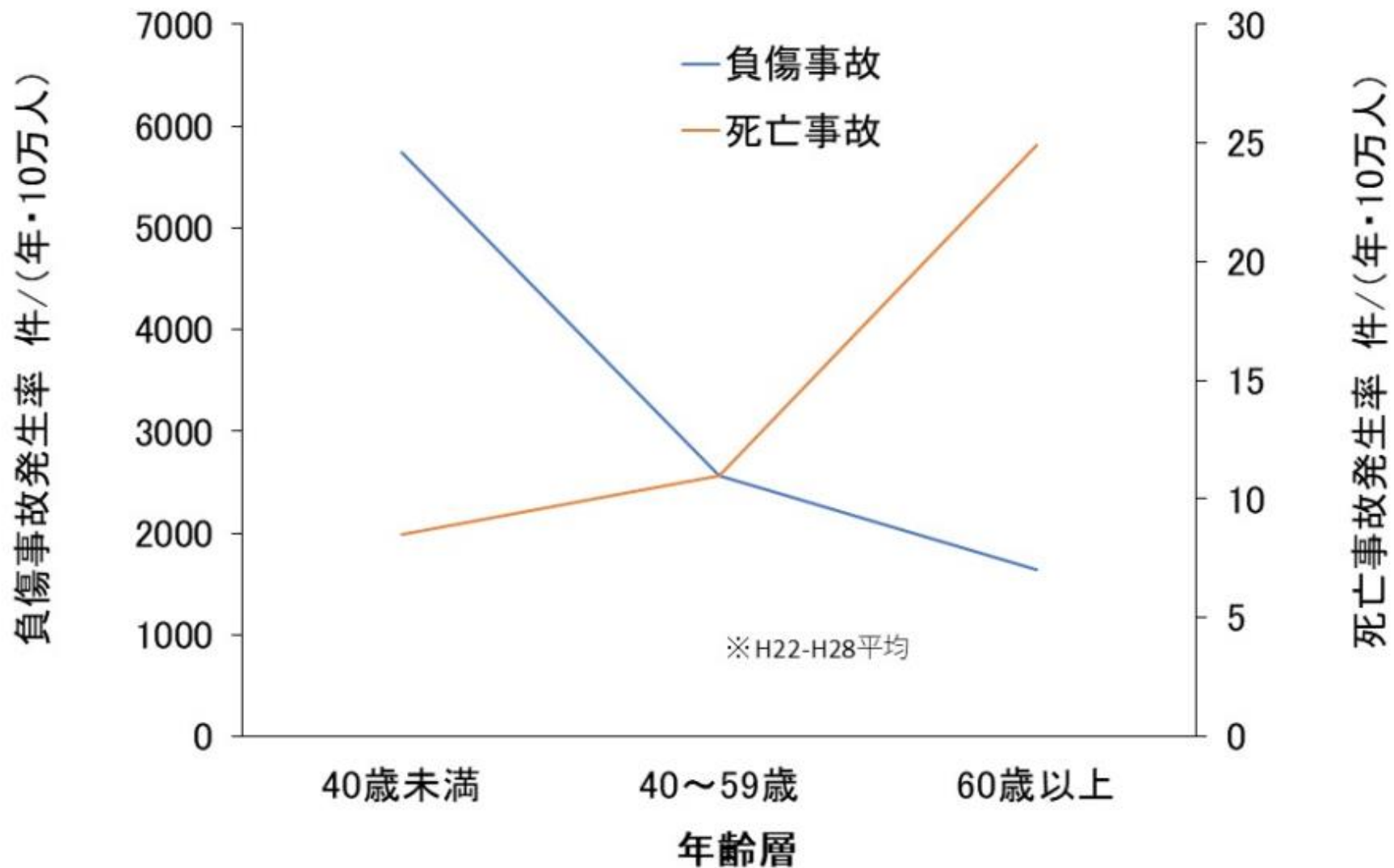
65歳以上層が86%



## 2 農作業事故の現状と課題

### 農作業死亡事故の統計（2010～2019）

- 若年層の負傷事故発生率はむしろ高い



## 2 農作業事故の現状と課題

農作業事故が減らない理由—法律上の問題

農業（家族経営）は労働安全衛生法の適用外となることが多い

労働者を守るため、事業者に安全配慮を義務付ける



- 労基署への事故報告義務がなく、負傷事故の全国調査がない  
農水省の死亡事故調査は、厚労省の人口動態調査の死亡個票から集計、  
情報量が少なく事故要因の分析が困難
- 事故要因が定かではないので、的を射た対策が困難
- 労働安全について学ぶ機会が乏しく、安全文化が育ちにくい



農作業は「安全よりも能率が優先」

農業機械は「安全よりも価格・性能が優先」という認識が多勢

## 2 農作業事故の現状と課題

農作業事故が減らない理由—多くの農業者に見られる傾向

こんな場面を見聞きしたことはありませんか？

- 機械に乗る時や高所作業時にヘルメットをかぶらない
- 田植機の前部にしがみついて田から出る
- トラクタに小さな子供を乗せて作業する
- ゴーグルをしないで刈払機を使う
- 脚立の天盤に乗って作業する
- ハシゴに登って枝を切る・・・など



「もしもの時にどうなるか」に思いが至らず、常識化・常態化

もうそろそろ、この「農業の常識」を変えませんか？

# 1 農作業事故が引き起こすもの

---

事故に遭われた方は、どのようなお気持ちなののでしょうか？

これから、3名の被災者の治療後の患部の写真が出てきます

いずれの方も「事故に遭う人がこれ以上増えないよう、この写真で俺たちの気持ちを伝えて欲しい」とおっしゃいました

苦手な方は、目を伏せて話だけ聞いてください。

# 1 農作業事故が引き起こすもの

Aさん：ブロードキャストのアジテータに左足を巻き込まれた



「ケガで済んでよかったと言われるが、想像していた以上に心身がつらい」

Bさん：ロールベアラの駆動チェーンに右手を巻き込まれた



「こういう目に遭うのは、自分が最後であって欲しい」

Cさん：自脱型コンバインの搬送チェーンに左手を巻き込まれた



「事故に遭って初めて、身の回りに危険がたくさんあったことに気づいた」

# 1 農作業事故が引き起こすもの

## 農作業事故によるダメージ

### 身心への影響

- 治療や後遺症による肉体的ダメージ
- 自分の過失に対する心理的ダメージ

他者を傷つけたときのショックはなおさら大きい

- 高校生アルバイトをトラクタでけん引したトレーラに乗せて移動中、高校生が転落して轢かれた事故
- 幼児をトラクタに乗せて耕うん作業中、転落してロータリに巻き込まれた事故

農作業事故は、これ以外にも大きな影響が・・・

# 1 農作業事故が引き起こすもの

## 農作業事故によるダメージ

Dさん（当時50歳代）

露地野菜中心、作業受託も増え、地域の担い手として囑望

トラクタのPTOを切らず、駐車ブレーキもかけず、トラクタの後ろで作業していたところ、後退してきたトラクタのロータリに巻き込まれ、右脚を複雑骨折、神経断裂等、車椅子生活に



生命保険しか加入しておらず、  
出荷価格の急落とも重なり、  
子息の学費捻出にも困窮



**離 農**  
地域の担い手  
を喪失

「いつもと変わらない作業だったのに、まさかこんなことになるとは思わなかった」

# 1 農作業事故が引き起こすもの

被災者に共通した思いは「**自分が悪い**」

多くの被災者が「事故の前と後では考え方が真逆になった」と語っていますが・・・

それでも多くの人が農作業事故の怖さを知らないままです

「今さら農作業安全なんて」

「今まで大丈夫だったんだから」

かと言って農作業事故の悲惨さばかりを強調すると・・・

「説教臭くていやだ」

「そういうのは苦手」



道徳的な観点とは別の観点で農作業安全を語っては？

# 1 農作業事故が引き起こすもの

キーワード：農作業事故は、**最大の経営リスク**のひとつ

経営リスク

- 自然災害
  - 資材費等の高騰
  - 生産物価格の下落、等
  - **農作業事故** → **防げる！**
- } 防げない

末永く営農を続けるには、農作業安全は不可欠！

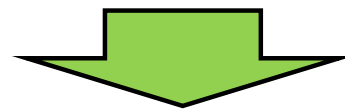


経営改善や収益向上をテーマとした研修会の中で、  
農作業安全に触れるのも一案

## 2 農作業事故の現状と課題

### 安全研修会の持ち方

1. 従来型研修（専門知識を有する講師が必要）
2. 対話型研修（それほど専門知識がなくても可能）
  - 座談会形式で、受講者が自分の体験や意見を語り合う
  - 対話によって受講者の中に埋もれている「答え」が引き出される
  - **その後の実践に繋がりやすい**
3. ハイブリッド型研修（1と2の組み合わせ）



詳しくは6時限目で説明

## 2 農作業事故の現状と課題

ある県の研修会での受講者へのアンケート結果

質問：農作業事故に対する印象 単位：%

	受講前	受講後
自分には全く関係ない	0.0	0.0
自分にはあまり関係ない	10.5	0.0
自分にも少しは関係ある	31.6	5.3
自分にも大いに関係ある	57.9	94.7

質問：農作業事故への対策 単位：%

	受講前	受講後
これまでどおりで十分	36.8	0.0
まだやるべきことがある	63.2	100.0

農業者の反応を先入観で判断せず、研修会を開くべき

## 2 農作業事故の現状と課題

### 教材や資料の作成

- 各種チラシが農水省のサイトからダウンロード可能
- ネットから素材を集めた手作りチラシも有効
- 地元のネタがあれば、さらに効果的

### 農作業安全関係のウェブサイトの例

- 農林水産省のサイト



- 井関農機株式会社のサイト



- 農業機械研究部門のサイト  
農作業安全関係サイトのリンク有



- 株式会社クボタのサイト



- 厚生労働省のサイト



- ヤンマー株式会社のサイト



- JA共済連のサイト



## 2 農作業事故の現状と課題

農業作業安全は、一部を除いて法令による規制がない

➡ 農作業安全に係る法令は2時限目、3時限目で説明



罰則があるからルールを守らなければならない？

罰則がないなら、何をやっても勝手？



農作業安全に取り組むのは何のため？



農業者を守る = 経営を守る = 地域を守る = 日本の食を守る

誰もがそう思える環境を作るには、関係機関の連携が不可欠

「どうせ無理」と諦めてしまったら、それで終わり

一人では無力でも、連携すればできることがある

➡ 現場での取り組み事例を6時限目で紹介

## 2 農作業事故の現状と課題

P.9~P.10

- 「農業者を守る法律を作るべき！」という意見があります  
もっともですが、法律成立までには長い年月が・・・  
その間も被災者は増え続けます



法令問題\*の是非はともあれ、事故対策は待ったなし  
現実問題として、自主的に取り組まざるを得ない



将来、法令で規制されても対応できるよう、今から作業環境、  
作業方法、取組体制、安全意識などの改善・向上を図る必要

\*厚生労働省では、車両系農業機械の数機種について、構造上の安全要件、定期点検、安全教育等のあり方に関して法令改正に向けて検討中